| 事　業　名 | 期　日 | 場　　所 |
| --- | --- | --- |
| 今金町福祉講演会 | ５月31日 | 町民センター |

活　動　内　容

～もしもの時の財産管理を考える～と題した講演会が開催されました。

全国で現在、300 万人に認知症の方が 10 年後には 170 万人増え 470 万人に。466 万人いる独居高齢者は 10 年後には 202 万人増え 673 万人となるという予測データーがあります。他人事ではない現実的な問題への心がけを持ちましょうという趣旨で行われました。その際、そのときの為にどうすればということで『市民後見人制度』について、その第一人者である東京大学政策ビジョン研究センター特認教授　宮内康二先生による講演でした。

高齢者福祉に関わる団体をはじめ広範囲な分野からの多くの方々が参加されました。

認知症や知的障がいなどで判断力が不十分でない方のために、本人に代わり、様々な契約や費用支払い、預貯金管理、不動産管理・処分などをおこなう制度の婦負用説明と今後予定している養成講習会への参加について詳細にわたり、事例を交え分かりやすく説明いただきました。

施設・関係団体の立場からも必須でありますし、受講されるように期待するところです。









